

同友 やまがた

よい会社をつくろう／よい経営者になろう／よい経営環境をつくろう

09
2013
SEPTEMBER

山形県中小企業家同友会
月刊 同友
やまがた



連携授業

「山形を元気にする企業家に学ぶ」を終えて

“食と農”連携グループ交流会に参加して
すべては大地から生まれた

第11回 経営研究集会案内

社員と共に夢をかなえる企業づくりをしよう

中小企業振興条例元年

魅力を集い、
共に歩もう!

「山形を元気にする企業家に学ぶ」を終えて

山形大学 教授 福島真司



今年度の、山形県中小企業家同友会（以下、山形同友会）、山形大学（以下、本学）、株式会社きらやか銀行、山形県信用金庫協会加盟4信金との連携協力協定による授業「山形を元気にする企業家に学ぶ」も、8月10日をもって無事に終わることが出来ました。この授業の開講にあたり、山形同友会の多くの皆様、岩手同友会の株式会社八木澤商店河野通洋社長等、本当に多くの皆様のご協力を賜りました。記して、心より感謝申し上げます。

本授業は、本学で実施する山形同友会会員の経営体験のご講演とグループ討論を行うパート、山形同友会（山形支部、寒河江支部、さくらんぼ支部）例会に参加させて頂くパート、同友会企業を訪問し現場で経営体験のご講演と質疑応答を行うパートと、大きく3つのパートから構成されています。

本学で実施するパートにおいて講演を頂くゲストスピーカーとして、今年度は、山形同友会副代表理事であるサンシステム開発株式会社中村友祐社長、Hair With Water赤塚治美ディレクター、株式会社山形ビッグファーム阿部秀顕社長をお迎えしました。

中村社長からは、東日本大震災後の家族、社員さん、お客様との安否確認を通して、人と人とのつながりに対する本質的な気付きを得、経営理念に謳った「人が輝くネットワーク社会づくり」が間違っていなかったことを確信したことや、今後次世代のために新しい価値観のビジネスの仕組みを作るのが自分の使命であるという強い想いをお聞かせ頂きました。赤塚ディレクターからは、お客様の役に立ちたい、お客様を素敵にしたい、お客様の幸せを創りたい気持ちで一心に努力を続けることで、目の前の仕事が「天職」と呼べるものになっていくこと、そして、目の前に与えられたことを必死でやれる人間だけに未来が

開かれ、輝きが生まれ、素敵な人との出会いもあるという熱いメッセージを頂きました。阿部社長からは、農業の過去と現在、将来を展望する中での自社の沿革や経営努力のお話を通して、必ず自分が生まれ育った地域へ恩返しをするという強い信念や夢を持って熱く生きる人生の素晴らしさをお教え頂きました。

企業訪問のパートでは、2011年東日本大震災以降、被災地同友会のご協力を得、震災復興の最前線で地域を守り、命を守るために、命懸けで踏ん張る社長様のお話をお伺いし、働くこと、生きることの本当の意味を考え抜く機会を提供頂いています。今年度は、株式会社八木澤商店河野通洋社長を6月9日に訪問させて頂きました。

東日本大震災で80%の企業が壊滅した陸前高田市ですが、震災前から共に助け合い、共に発展する姿勢で発展してきた岩手同友会気仙支部の真骨頂が発揮されます。河野社長は、自社の社屋も絶望的な被害を受けながらも、社員さん達と共に支援物資の配付、周囲の会社の倒産防止の活動に必死の覚悟で臨みます。金融機関から潰れそうな会社の情報をもらうと、その経営者に対し「商売を止めては絶対にダメだ」と融資情報も携え事業継続の説得を続けます。中央官庁やWFP等の普段は官僚的な組織と見られる面々の、現場での保身を顧みない不退転の意志決定や、地域の行政機関のあり得ない奇跡の現場判断の連続で、多くの経営者があきらめず、事業を再開し、自立することで、生きる根源的なエネルギーを得ていきます。「企業の一番の使命は人を雇用すること。お客様を幸せにし、利益を出し、それを永続すること、そして、地域をよくし、持続可能な地域を作ること」と語る河野社長の熱い想いに、心を揺さぶられた1日となりました。

6月29日には、天童市の有限会社半澤鶏卵の半澤清彦社長を訪問させて頂きました。人間の生を支える農業の現状、昭和20年代よりも現代の価格が下がっている卵という農業生産品の生産、販売、高付加価値化とブランディングを通し、経営とは正に生き物であり、到達点はなく、日々アンテナを高く情報を収集し、環境の変化に合わせて適応を続け、そのための大きな決断をし続けるものということを深く理解させて頂きました。

同友会例会に参加させて頂くパートでは、5月～8月まで、山形支部、寒河江支部、さくらんぼ支部の計12回の例会に参加する機会を頂き、普通の大学生活では、決して得

ることのできない学びの機会を頂きました。

最後に、本授業に関係して下さった全ての皆様に最大限の感謝の気持ちを込めつつ、本授業の最終レポートで問いかけた「この授業を通して得た自らの成長は何か？」に対する学生達の回答を抜粋し、記載させて頂きます。

“「夢なんてなー」と思っていた自分が恥ずかしくなるほどに、社会人になってからの、今からの夢を語る皆さんが熱いことに驚いた。自分は絶対に負けてられないなと思わされたし、人生において目標をたてて、「今の若者は…」なんて言わせない自分になりたいと強く思えた”

“中小企業で働いていらっしゃる方々がカッコよく、自分もそんな大人になりたいと考えるようになりました。リスクはあるけど、自分たちで会社を作りあげ、利益をあげていく。地域と、密接に関わり合える。他の企業とも関わり合い、助け合える。大変だけどやりがいがある。人間として成長できる。中小企業にとっても魅力を感じたし、自分もそういう企業で働きたいし、起業したいと思いました”

“情熱、社員さんを思う社長の気持ち、地域への思いなど、こんな会社で働けたら楽しいだろうな、幸せだろうな、と思うことがたくさんありました”

“同友会の社長さん方はみな社員さんの幸せのために一生懸命で、誰一人として自分さえよければ、という人はいませんでした。自分の中で価値観が大きく変化したように思います”

“迷いながら苦しみながら、それでも前を向こうとするその人間臭さに中小企業の光を見たような気がします。このような方たちが地方を支えているんだと思うと、まだまだ地方も捨てたものじゃないと思いました”

“自分よりも大きな社会や地域のお客様、社員たちの幸せのために働いている方々には、尽きないモチベーションがあり、工夫に工夫を積み重ねて続けていることを身をもって知りました。面白いアイデアもあふれ、とても創造的です。社会も自分も幸せにする働き方のいろいろな例を、生きた形で知ることができました”

“1番見えていそうで見えていなかったり、考えられていないのは、自分の奥の自分だと思った。自分を見つめて、何がしたいか。何を求めているのか。それには、どんなことをしていく必要があるのか。もっと、自分に自分を近づけたいと思う。長い目で人生をみたときに、「自分はこの仕事やっつけられて良かったな」と思える仕事を見つげたいと思う”

“人間には自分で考えることが必要です。考えることをやめるのは、生きることを放棄するのと同じだと思います。この講義では深く考える機会が多くありました。社会のことや、他人のこと、そして何より自分自身のことについて、今までないくらいじっくりと向き合い、考えました”

“私は高校三年間、たくさんのエリートたちに囲まれて過ごすうちに、「自分」というものを失いました。周りの人たちにとても引け目を感じ、人と関わることも積極的にできませんでした。一言でいえば、「落ちこぼれ」でした。この半年間の講義を通して、私が高校時代落ちこぼれた理由が分かりました。心のどこかで、諦めていたということです。講演をしてくださったどの社長さんのお話を聴いても、必ず逆境があったと思います。しかし、そこでどう考え、どう行動するかということが大切であると学びました。少しでも「無理だ」「できない」と思ってしまったり負け。私はそうでした。今まで自分の能力に勝手に限界を定めて、成長することをやめてしまっていました。講演ももちろんですが、グループ討論で社会人、学生の話聞くうちに、「このままじゃ嫌だ。成長したい！」と何度も思いました。毎回の授業が終わったあと、必ず「自分ってダメだなあ」と思いながら帰っていました。そこでただ「ダメだ」と言っているだけでは今までと一緒。「なりたい自分」になるためにはどうしたらいいのか考えて、達成するまでやり切る。本気で成長したいです”

“人間として仕事に取り組み、出会いを新たな出会いにつなげます。どんな苦しいときも、人間として生きたいです、働きたいです。そしてどんな相手であっても一人の人間として対等に関わり合いたいと思っています。そしていろんな人と出会うなかで、その出会いに感謝しながら自分の世界を広げることを恐れなくて前に進もうと思います。出会いを大切にすれば、新しい出会いも生まれるはず。この授業で出会ったすべての人に感謝しています”



すべては大地から生まれた “食と農”連携グループ交流会に参加して

7月19日から20日にかけて「食と農」連携グループ全国交流会が、北海道にて開かれました。山形から参加された皆さまより感想文が届きましたので、紹介いたします。



さとう農園(株) 専務取締役 佐藤 卓弥

「食と農」連携グループ全国交流会inとちかち」は、中小企業家同友会「食と農の交流会」初の全国大会として開催され、すべての分科会が、見学体験コースという北海道ならではの特色のある交流会に、全国から456名の方が参加しました。

北海道同友会 とちかち支部の農業経営部会の歴史は古く、今年で25周年。会員数は、160名(農業者100名、その他60名)で構成されています。

みなさん、北海道十勝の農産物といえば、何を思い浮かべますか？

まずは、十勝農業の概要を、簡単にご紹介いたします。十勝の経営耕地面積は、1経営体あたり38.3haで、全国平均の約24倍の規模。乳牛飼養農家1戸当たりの飼養頭数は145頭で、EU諸国の水準に匹敵します。

代表的な農産物(生産数量)としては、

	全国	北海道の割合	十勝の割合
小豆	6万トン	90%	55.3% (全国の半分以上)
馬鈴薯	234万トン	78.8%	33.5% (全国の1/3分以上)
小麦	74万トン	67%	28.6% (全国の1/4以上)

上記3品目の北海道での生産割合の高さも注目すべき点ですが、北海道の中でも十勝の農業がいかに重要かを示しています。なんと国産小豆の半分以上が、十勝で生産されています。馬鈴薯、小麦も1/4以上のシェアを誇っています。

このデータからもおわかりのように、十勝では、日本有数の農業地帯として発展してきました。しかし、一方では、経営規模の拡大に伴う労働力不足や高齢化、後継者不足を抱えています。また、食の安全、安心に対する消費者の関心の高まり、さらには市場のグローバル化が加速する中で、農業を取り巻く情勢は大きく変化しています。今回の交流会では、この問題点も含め、農業経営部会員の取組みを、現場で見学、体験し、参加者全員で学びあいます。

今回は、全部で17分科会。私が参加した第6分科会(観光農園2件)について報告させていただきます。

まずは『農と食のテーマパーク』～食べて、魅せて、楽し

めるガーデン～を目指す「十勝ヒルズ」。農産物総合商社の丸勝が5年前から展開している事業。100種類以上の農産物を栽培しているオーガニックハウスや、花、ハーブ、野菜が共生しているオーガニックポタジェ、和食、洋食レストラン、カフェ、ショップと26haの広大な敷地に広がるテーマパークです。

次に『北海道を花の島に18,000坪のナチュラルガーデン』～63才からの起業～ 紫竹おばあちゃんの「紫竹ガーデン」。84才現役の社長は、カラフルな衣装に身を包み、みんなに愛される人柄は、来場した人を癒し、楽しませてくれます。今後は、ガーデニングをリハビリに活用してもらい、幸せに暮らす老人のお手伝いをする「農と医」のコラボを構想しているそうです。

今回注目したい点は、上記2社を含む7社が連携して、『ガーデン街道』を形成している点です。異業種が、お互いの強みを活かし連携していくのではなく、同業者同士が手を結び『個』→『連合体』として動き出したのです。今までは、同業者を敵とみなし競争してきたが、逆に、『ガーデン街道』という連合体をつくることにより、十勝を訪れたお客様(観光客)が、この地域で最大限楽しんでいただける観光プランができ、十勝ヒルズにおいては、5年前は5千人の来場者が、現在6万人に増加しました。これからの時代、自分だけ自社だけ良ければという経営は成り立たず、やはり協力、共存がキーワードになってくるのではないのでしょうか。

2日目の記念講演は、山形同友会の総会にも来ていただいた(株)山本忠信商店 山本英明社長です。

テーマは『“豆魂麦想”「つくる」を「食べる」のもっと近くに』～十勝夢mi11の挑戦～

冒頭に紹介した十勝の小麦の生産量、全国の1/4以上も占めているにもかかわらず、十勝の農産物といえば「小麦」と言ってくれる人は、ほとんどいないんです。それが、生産した農作物を全量道外に出荷している実態です。と語る山本社長。これからは、自分たちが作ったものを、自分たちで加工し、「食糧供給基地」から『食品供給基地』への脱皮を目指すバイタリティーあふれる講演は、規模は違えど、農業が基幹産業である山形と共通するものがあることを学びました。

全国の中小企業家同友会の会員が一堂に集い、「食と農」の問題点や、将来の希望を、農業者だけではなく、異業種で討論できることは、同友会ならではの素晴らしいことだと思います。山形でも「食農部会」をもっと盛り上げていきたい

と思っております。興味のある方は、是非ご連絡ください（同友会会員であれば、どなたでも入会できます）。一緒に、山形の農業を盛り上げていきましょう！

ブルデンシャル生命保険(株)仙台支社 課長代理 伊藤 雅子

7月は、北海道の美しさを堪能するのに最高の季節です。私はスキーのトレーニングでは何度か北海道を訪れていましたが、夏の北海道はなかなか機会もありませんので、観光も兼ねて伺いました。天候にも恵まれ、有意義な2日間を過ごさせて頂きました。

県外の行事初参加だった私は、懇親会の規模に大変驚きました。420名の参加者を迎えたのは、お料理からデザートまでどれもこれも、目を見張るような食材ばかり！

食べ方にも非常に工夫がされていて、
(例)炊きたてご飯3種…白米・まる麦ごはん・豆ごはん

↓

トッピング…豚井用の豚・ステーキ(ヒレ、ロース、サーロイン)・牛バラ甘辛煮・すき焼き・ゴボウや生椎茸の唐揚げ・きざみ長ネギ・大根おろし・長芋おろし・えだまめ納豆・味噌 その他多数

といったふうに、参加者がお好みで好きなものを好きなだけ頂くという形式でした。

そしてそれぞれを生産者がPRしながら提供するわけですから、美味しくないとはいけません。あらためて、『フードバレーとかち』の底力を実感しました。

また、4月に山形で講演をして頂きました山本社長の記念講演も、非常に興味深いものでした。今回は、北海道の開拓の歴史やその方々のご苦勞、その後小麦バブル時代を経て、今後山本社長が考える『生産者に寄り添い、共存共栄を目指す』取り組みについてのお話でした。同じ日本にありながら今まで全く知らずにいた事も多く有り、大変勉強になりました。

この日は、地元 帯広大谷高校が全国一番乗りで甲子園初出場を決めたとのこと！活気ある『とかちパワー』を肌で感じた2日間でした。

(株)長沢建設 取締役 和田 和之

分科会では、農業経営規模の大きさにまず驚かされました。

法人でありながら家族経営に徹していて、緻密に計算しつくされた経営方針でした。また、グループ討議では、国の出先機関の人、農業経営、プランナー、建設会社代表、地元農場主等で、今後6次化についての話しがでて、販路などの課題があるようです。原料で付加価値を付けるか、加工して製品で販売していくかの話しが出ましたが、行き着く所、売先の問題、価格設定等が問題になります。

S R U(土壌診断)は尾藤農場で採用していて徹底した管理の中で、低コストで持続可能な農業を営んでいるのには、びっくりしました。設備について効率化を考え、事業に取り組んでいるところは、どんな事業にも共通すると実感させられました。

記念講演で山本さんは、基本は農業で農家の目線で物事を進めているところ。それには自分の会社は、農業農家で成り立っていること。原点回帰という考えがあるようでした。カリスマ的なところに感心させられました。

(有)半澤鶏卵 代表取締役 半澤 清彦

バスの窓から外を眺めると広大な農地が、私たち道外から来た人々を魅了する。それだけでも観光資源としては、十分すぎるものがあると思うが、今回の見学分科会(6分科会)に参加して、更にその魅力が増した。

私はこれまで農薬を使う農業があたり前だと思っていたが、無農薬の農業こそが本来の農業であることに気づかされた。そして、その農産物がその場で一流のシェフにより調理される。話を聞くだけで、おいしさが伝わる。このように斬新な、しかしながらあたり前の魅力があちらこちらに表現されている。

規模だけでも十分過ぎるのに繊細な魅力が、私たちをひ

きつける。そして、それが連携によって、更なる魅力アップにつながっている。また、連携するそれぞれの企業がライバルとして互いに意識し合い、それぞれのレベルアップにつながっている。益々北海道の魅力が増幅されるのである。正にウィンウィンの関係であると思った。



第11回
経営研究集会

社員と共に夢をかなえる 企業づくりをしよう

2013年11月28日(木) 午後1時30分開会

会場：ホテルメトロポリタン山形 山形市香澄町1-1-1 電話 023-628-111

参加費：第1部～第2部 / 2,000円 第3部(懇親会) / 5,000円

ごあいさつ 第11回経営研究集会実行委員長 庄司 薫



今年も第11回経営研究集会が開催されます。

今年の基調講演は、「あきらめなければ夢は必ずかなう」を信条に社員とともに世界一の菓子屋をめざす「菓匠shimizu」の代表取締役シェフパティシエの清水慎一氏を長野からお迎えすることになりました。

清水氏はNPO法人「ドリームケーキプロジェクト」の理事長としての活躍はもちろん自店舗でもスタッフと夢を共有し、その夢を実現するための成果を出すために「何のために働くのか」「何のために菓子を創るのか」を日々スタッフとともに真摯に追求し続け社員の夢の追求のための経営を貫いていらっしゃる経営者です。

ブレない軸のある経営と、社員と夢を共有しての企業づくりは我々同友会の会員の皆さんも共感でき、学び合えるポイントがたくさんあると思います。若さあふれる熱い清水氏の講演を、経営者の皆さんだけではなく社員さんと一緒にお聞き頂くことを是非お勧めいたします。

さらに今年は経営指針、社員共育、政策の3分科会に分かれて、報告とグループ論も開催致します。

経営研究集会の名のごとく、みんなで学び、考え、実践し、元気な会社、元気な山形をつくって行きましょう。

第1部

基調講演 13:30～15:20

菓子創りは夢創り ～大切なことを大切に作る組織創り～

講師：(株)菓匠 Shimizu 代表取締役 清水慎一氏 (シェフパティシエ)
非特定営利組織NPO法人 Dream Cake Project 理事長

第2部

分科会・グループ討論 15:30～18:50

第1分科会(経営指針) 報告者：(有)山形商美社 代表取締役 服部 正氏

第2分科会(社員共育) 報告者 (株)朝日測量設計事務所 代表取締役 小林敏郎氏

第3分科会(政策) 報告者：飯豊町商工観光課 課長 小松一芳氏

第3部

懇親会 19:00～20:30

第4回理事会報告

◆日時:2013年8月7日(水)16:00~18:00 ◆会場:同友会事務局 ◆議長:中村副代表理事
◆出席:阿部(和)、阿部(秀)、安藤、伊藤、及川、齋藤、佐藤(卓)、島貴、庄司、菅原、中村、松田、若木、川合相談役、事務局:伊藤、矢作、高橋 出席数:17名

中村副代表理事が議長を務め、松田代表理事の挨拶で始まり、下記の議事を進めました。

■報告事項

1)中同協関連

①中同協第45回定時総会 安藤代表理事より

参加人数950名、山形から安藤社長・金田社長・伊藤事務局長の3名が参加。「情勢を切り開く強じんな企業づくりを地域に広げよう」のテーマで開催された。初日は17の分科会、2日目は大グループ討論で、「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」を学び合った。

②食と農連携グループ全国交流会 佐藤理事より

食と農の交流会としては初の全国大会で、17分科会全てが見学分科会として開催された。

記念講演は定時総会で講演を頂いた、(株)山本忠信商店の山本社長より「『豆魂麦想』『つくる』を『食べる』のもと近くに〜十勝夢mi11の挑戦〜」のテーマで講演された。

③全国事務局員研修会(基礎コース) 高橋事務局主任より

京都に於いて「同友会運動の歴史と理念に学び、研修会での獲得目標を明確にする」のテーマで開催された。7回の講義と5回のグループ討論で、「歴史から何を学ぶか」から「事務局の役割、同友会運動を進めるとは」を深められた。

2)委員会関連

①政策委員会:山形大学と新庄信用金庫との連携について 齋藤理事より山形大学にお任せをし、連携協力の継続をお願いすることになった。

②経営指針委員会:第18期経営指針をつくる会 菅原理事より

まだ課題がある方がいますが、補講でフォローし8月24日の発表会に臨む。

③社員共有委員会:新入社員フォローアップ研修、幹部社員研修について 阿部理事より

各研修は10月・11月に開催する。詳しくはこれから決めていく。

3)7月月次決算報告 伊藤事務局長が会費未納状況と合わせて報告。

■承認事項(入・退会承認) 5名入会、3名退会 8/7現在会員数 400名

■討議事項

議題1:組織づくりの課題

1)「9日増強デー」の取り組みについて、各支部長より報告があった。

支部	主な活動内容
山形	8月の幹事会(8/8)で取り組みを決める。
寒河江	支部役員(12名)が5名の方に、FAXで例会案内をおくる。その結果を支部長、事務局に報告をする。9日は、毎月違う取り組みをする。
さくらんぼ	9日は、支部長・副支部長と事務局で入会対象者を訪問する。毎月1名入会目標で7、8月2名入会した。明日1名入会予定で目標まであと2名。
置賜	毎月9日までに紹介者リストに挙がっている方のお誘い結果を報告する。6月からの雰囲気の良い例会が開催され、ゲスト参加者が、毎月1名ずつ入会している。
庄内	幹事が2名のゲストをリストアップする。入会歴の浅い会員のフォローをしていく。会員の例会参加者を増やすために参加呼びかけ表の見直しをする予定。9日は、例会案内のFAXを送る。

2)入会対象者リストの進捗状況の確認

中村副代表理事より、各支部入会対象者リストの進捗状況があげられ、承認された。

3)理事会としての取り組みについて(前回理事会で確認)

①入会対象者のリストアップのお願い。(事務局もあげる)

②会員企業のHPに、山形同友会HPをリンクしてもらう。

③「増強デー」の取り組み

議題2:第11回経営研究集会について

庄司実行委員長より、開催要項(開催目的、開催日時・企画内容)の提案があり、承認された。

開催日時:2013年11月28日(木)13:30~20:30、ホテルメトロポリタン山形で開催。参加規模200名とし、第1部基調講演、第2部分科会(3)・グループ討論、第3部懇親会で構成する。

予算(案)等で出された意見等は、第2回実行委員会で検討することとなった。

議題3:中小企業振興条例について

初めに若木理事より、8/20県中小企業振興課との意見交換会の報告があった。続いて齋藤理事より、8/20県が主催する「やまがた中小企業元気再生シンポジウム」の参加状況が報告され、30名をめざすことを確認した。

中小企業経営者との意見交換会について、産業政策課より同友会に村山会場1名、庄内会場1名の参加要請があった。

議題4:第41回青全交(9/12~13 東京)の件

菅原理事より、現在7名の参加者であると報告があり、10名の目標達成することを確認。

プレ報告(山形支部例会 8/29)の参加呼びかけがあった。

議題5:新e.d.o.y.uの説明会の件

安藤代表理事より、開催要項の提案があり承認された。講師の中同協平田事務局長との懇談会開催の提案があり承認された。詳細については後日案内することとなった。

1)開催要項 ・日時:9月4日(水)18:30~20:00

・終了後に会場移動し懇親会。

・講師:中同協 事務局長 平田美穂氏 *全会員対象

■その他

1)山形同友会HPの見直しの件(検討事項)

2)第17回障害者問題全国交流会の宣伝について

神奈川同友会より、実行委員長が参加呼びかけのために9月理事会への参加が確認された。

3)齋藤理事より、8/10山形大学連携講座の参加呼びかけがあった。

4)次回理事会

●日時:9月11日(水)16:00~18:00

●会場:同友会事務局

●議題:①組織強化(会員増強進捗状況)②第11回経営研究集会の件

③その他

■閉会挨拶 安藤代表理事

新会員紹介

◎村山 徹氏

マニユライフ生命保険(株)
プランライトアドバイザー
業種 生命保険業
山形支部

◎石井 信之氏

(株)ビー・コム 代表取締役
業種 通信・情報機器ネットワーク販売・メンテナンス
さくらんぼ支部

◎早坂 幸起氏

(株)エツキ 代表取締役
業種 印刷機械・工作機械・食品機械等の産業機械の製造販売
さくらんぼ支部

◎東海林 啓氏

山形県立天童高等学校 教諭
業種 教育(高校)
さくらんぼ支部

◎佐藤 昭彦氏

(株)ムラヤマ建築 常務取締役
業種 建築内装工事業(内装仕上)
置賜支部

支部・会員名・ 企業名・役職変更

(株)会田クリーニング工場(山形支部)
専務取締役 會田 哲也氏
⇒ 代表取締役 へ変更
(株)工藤(庄内支部)
専務取締役 工藤 規行氏
⇒ 代表取締役社長 へ変更

From Editor

★そうか、もう秋だ。猛暑、豪雨、土砂災害、長期の断水があり異常気象と言われた2013年の夏、地球の扶養能力はどれぐらいなのだろうとふと考えてしまう。日本の人口は減っているが世界の人口は増えている。人間が出し続けるゴミはその能力を超えているのではあるまいか。★真夏日の昼下がり、花壇と畑の境界線のところ、「地球」にスコップでもくもくと穴を掘った。汗が滴り落ちる。リビングから聞こえてくる甲子園の歓声がさらに汗を誘う。首にまいたタオルがびしょりとなった頃、やっと40センチぐらいの穴が出来た。それはスイカまるごと1個を埋めるためのものなのだ。★1週間前、夏休みに遊びに来る子ども

たちのために、奮発して買ったものだった。今はお店で、赤い実だけをぎく切りにしたものがバックで売られている。切って冷やそうと持ちあげた瞬間グショとなった。長雨の影響で水分を取りすぎ腐ってしまった。生ゴミに捨てるには大きすぎる、そうだと埋めよう。★何事もなかったように姿は消えた。1回も口に入れられることもなく存在を消されたのだ。土の中で朽ち果てミミズや微生物に分解され土に返るだろう。有害物質で汚染されたものだとしたら、土に溶け込んだ水はやがて地下に染み渡り、川へ海へと流れていくだろう。目の前から消えたとしても形を変え、場所を変えただけで、この地球には残る。(由)

9月支部例会案内

・どの支部の例会にも参加できます。・月に一度は参加しましょう。



置賜支部

逃げない!あきらめない!
資本金1円からの企業の挑戦

2013.9.19 (木) 18:30~

場所:伝国の杜

米沢市丸の内1-2-1 ☎0238-26-8000

報告者:㈱アイティラボ 代表取締役 今泉 孝氏

社長との意見の食い違いからシステム開発会社を退職。すると、かつてのお客様より仕事の依頼があり、個人として平成18年に創業。その後、お客様から取引継続のため法人化を望まれる。資金がないため資本金1円で企業を設立。お客様の要望に必ず応えることをモットーに、資金調達に苦労しながら歩んできました。「創業以来運転資金との戦い。大変な時、全てをオープンに話すと、お客様をはじめいろいろな方が、支えてくれ、ラッキーだった」と語る今泉氏の報告をもとに、お客様との関係強化について学び合います。



さくらんぼ支部

「中小企業振興条例」の活用で
自社と地域を元気にしよう!

2013.9.25 (水) 18:30~

場所:さくらんぼタントクルセンター

東根市中央1-5-1 ☎0237-43-1155

報告者:㈱CSC 代表取締役 齋藤志直氏

「中小企業憲章」「中小企業振興条例」って、自分の会社には違うものだと感じていませんか。

地域になくならない企業づくりに取り組むなかで、経営基盤である「地域」を考えずにはいられません。少子高齢化が進み、経営環境を改善すべき課題が見えてきます。そして、自社の努力だけでは限界があります。

昨年12月に制定された「山形県中小企業振興条例」が、経営と地域とどう結びついているのか、事例を紹介しながら、政策委員会の齋藤委員長がわかりやすくお話しします。また、金融機関をはじめ山形大学との連携などの政策委員会の活動についても触れていただきます。

中小企業の社会的役割を一緒に考えていきましょう。



庄内支部

庄内支部を10倍楽しくする
ビアパーティー

2013.9.26 (木) 18:30~

場所:広島風お好み焼き 安藝

鶴岡市東新斎町12-10 ☎0235-22-3063

会費:3,500円

庄内支部9月例会は、「庄内支部を10倍楽しくするビアパーティー」のテーマのもと、会員交流会を開催致します。今年度の方針にある、「会員の顔と企業が見える支部づくりをめざす」を、会員間交流や異業種交流という意味合いも込めまして、経営や同友会にかかわる話から夢や趣味の話等々、様々な角度でコミュニケーションを取って頂き、同友会メンバー同士が本音で語り合い励まし合える良い機会にして頂ければと思います。また、豊かな地域づくりのための仲間づくりを進めるべく、ゲスト参加も大々大歓迎でございますので、是非お知り合いの方をお誘いあわせの上、奮ってのご参加をお待ちしております。



寒河江支部

パネルディスカッション
良い会社ってどんな会社?

2013.9.27 (金) 19:00~

場所:寒河江市技術交流プラザ

寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

●パネラー (尚)住まい一む情報館 渡辺郁恵さん
(尚)鏡豊店 尾形 航さん
(尚)水戸部塗装 大津義和さん

経営者は、お客様、社員、地域にとって、常に良い会社づくりをめざしています。

9月例会は、趣向を変えて、会員企業の社員の方3名にご登壇いただき、社員が考える「よい会社」はどんな会社なのか、良い会社にするために何をしていくのかを率直に語っていただきます。経営者、社員として良い会社にするために何ができるのか、共に語り、考えあい、次のステップに進みましょう。

9月例会には、将来を担う社員さんと一緒に参加してみませんか!

山形支部浅野研究会

「企業変革支援プログラムstep1」の意義と活用法

2013.9.17 (火) 18:30~19:30

場所:山形テルサ 研修室

山形市双葉町1-2-3 ☎023-646-6677

講師:やまがたシティブエム㈱ 代表取締役 青柳 等氏



山形支部

山形支部堀研究会

あなたの体の健康の幸せをさがそう

2013.9.18 (水) 18:30~

場所:瑞宝閣 山形市十日町4-2-3 ☎023-623-0024

参加費:5,000円

講師:東洋医学鍼灸治療院千鍼 院長 奥山千晴氏

山形支部金田研究会 パネルディスカッション

同友会って「どうゆう」会?同友会って何なの?

2013.9.26 (木) 18:30~20:00

場所:山形商工会議所

山形市七日町3-1-9 ☎023-622-4666

同友会の強みの一つ、『企業変革支援プログラムstep1』。非常に有効なツールなのに意外と活用されていない。もったいない。今回は、その意義を知り、活用法を学びます。講師は『企業変革支援プログラム』を企業経営に取り入れ、その成果を出している、やまがたシティブエム㈱ 代表取締役 青柳等氏。その後は20:00から会費制で会場を「炙り焼き我楽やまざし」に移動し、懇親を深めながらのお酒もありの本気のグループ討論を行います。奮ってのご参加お待ちしております。

経営者にとって健康の維持は大切な仕事です。「幸せをさがそう!研究会」の第1回目のキーワードは健康!講師に山形支部会員でもある鍼灸治療院千鍼 奥山千晴院長を迎え、「あなたの体の健康の幸せをさがそう」をテーマにお話をしていただきます。

講演・質疑応答の後は、懇親会となります。お互いが知りあい、気軽に語り合える絶好の機会です。

お誘いあわせの上、ご参加ください。

「同友会って、どうゆう会?」そんな声をよく聞きます。同友会には、例会だけではなくいろいろな経営者の学ぶ場があります。第1回目の研究会では、何のための会なのか?会の本質を考え、経営者としての悩みや課題を本音で語る会にするにはどうすべきか?研究会のテーマに沿って3名の会員さんに議論していただきます。パネルディスカッション終了後には会場を移動して懇親会を予定しております。加入しているだけではもったいない!もっと楽しもう!もっと議論しよう!もっと活用しよう!

同友やまがた9月号(2013年9月1日発行/通巻246号)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
URL:<http://yamagata.doyu.jp/> E-mail:info@yamagata-doyu.jp